

運輸区 とうとう 第十号



退職 蘭芳さん、お疲れさまでした！

習志野運輸区班より、名雪班長による写真&レポート

10・7 最終乗務無事終了

先月、運転士の緑川さんに続いて、10月7日に吉川蘭芳さん（車掌）の最後の乗務も無事終了し、65歳の定年退職を迎えることとなりました。

当日8時25分、津田沼駅

4番線ホームに到着後、比較的早い時間帯ではありましたが、OBの市川薫さんらも含めた出迎えや、本区では更に多くの出迎えがあったとのことでした。

10・18 送別会 in つぼ八

時を移し、18日、12時よ

り、津田沼駅北口のつぼ八にて、送別会が開催されました。

早期退職さ

れた高田裕史さんも駆けつけ、花束の贈呈がありました。

本人より「津田沼車掌区、習志野運輸区と40年以上車掌として勤務し、途中何度か長期病欠で、精神的にも肉体的にも辛い時期があったが、皆さまの励ましで、無事退職することが出来た」とあいさつされました。

その後、名雪班長からのあいさつで乾杯し、参加者全員で温かく労いました。

（編集部より）蘭芳さんは津田沼、習志野と役員として尽力され、特に習志野では機関紙の発行に力を入れられました。長い間お疲れさまでした！！

うたてつノス×⑥

池上線（西島三重子）

1976年4月

①古い電車のドアのそば
二人は黙って立っていた
話す言葉を捜しながら
すきま風にふるえて

いくつ駅を過ぎたのか
忘れてあなたに聞いたのに
ずっと私を見つめながら
ごめんねなんて言わ

泣いてはだめだと
胸にきかせて
白いハンカチを
握り締めたの

* 池上線が走る町に
あなたは二度と来ないのね
池上線に揺られながら
今日も帰る私なの *

②終電時刻を確かめて
あなたは私と駅を出た
角のフルーツショップだけが
灯りともす夜更けに

商店街を通り抜け
踏切渡った時だわね
待っていますとつぶやいたら
突然抱いてくれたわ

あとからあとから涙溢れて
後ろ姿さえ見えなかったの

* 繰り返し *

自分の中では、前年に出て大ヒットした野口五郎の「私鉄沿線」という曲と対になっている曲である。どちらも私鉄沿線風景がさりげなく描かれ、この曲では更にぎこちない男女の別れの時間がそこうまく乗った。

作詞は佐藤順英、作曲は西島本人である。元々はフォーク歌手でドリフターズの高木ブー氏に師事を仰いでいる（勿論音楽のだよ）。

サビの「池上線が・・・」の部分は他の路線ワードでは考えられないほど、ドンピシャである。寒々しい風景の描写もさすがプロの仕事！

ヒットを記念して、レコード会社が、池上線とタイアップのキャンペーンを東急電鉄に申し込んだら「古い電車で、すきま風？ふざけんな！」と断られたというエピソードもある。自身最大のヒット。

無理せず休みましょう！

先日、他職場の車掌が泊まり勤務の甲の早い段階で発熱しているにも関わらず、無理して乗務し続け、翌朝の特急改札は当該列車に乗り込んだものの動けず、途中で降りるという事象がありました。

甲部分で、他職場の便乗車掌を「熱が出ているのでコロナやインフルエンザだったらうつしてしまうかもしれない」という心配から客室に入れたようです。

この時点で何故自区当直に連絡をして、下りることをしなかったのでしょうか。また、翌日のタブレットによる出先点呼でも「体調よし」といった旨の虚偽報告をしたこととなります。更に甲部分で、多くの車掌（当直は??）がこの人の体調不良を認識しており、そのままにしてしまったことも大問題であります。安全安定輸送の基本の基本は乗務員の良好な体調管理です。強い責任感のつもりも結果的に他職場の車掌や、利用者にも迷惑がかかることとなってしまいました。少しの体調不良でも無理せず休みましょう！